※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	ニイハオ中国Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ここから中国語（白帝社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

テキストを活用しながらピンインの仕組みなど発音を学んでいきます。ピンインを見て簡単な文章を朗読できるようになりましょう。練習用のノートを作り、授業の中で繰り返し文を作り、一緒に会話練習をしていきます。ほぼ毎回、授業のなかで発表をしていただきます。

2　学習の到達目標

「知識及び技能」：ピンインを見て、簡単な文章を朗読できる。簡単な自己紹介ができる。
「思考力・判断力・表現力等」：中国語の初歩を学習し、日常生活での会話ができる。
（例、電話をかける、買いものをするなど）
「学びに向かう力、人間力等」：中国の歴史と現代の中国、中国文化の特徴を学ぶ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ピンインの仕組み、母音、子音、声調を学ぶ。日本語と中国語との違いに気づき、これらの知識を理解すると共に、読むこと書くことに慣れ親しみ、聞くこと話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身につけるようにしている。	音声に親しんで学んだ基本的な語いや表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書くなどして、自分の考えを表現し、伝えることができる力を養うようにしている。	中国語の背景にある文化に対して理解を深め、他者に配慮しながら主体的に中国語を用いてコミュニケーションをとろうとする態度を養うようにしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和４年度以降入学生用

1	1・2	発音(文字、発音表記、音節、母音、子音、発音の変化、ピンインのルール)	a:ピンインの仕組みを理解している。 b:ピンインを見て文章を朗読できる	小テスト	レポート	発表、口頭練習
	3〜6	A は B である 私は･･･といいます 私は･･･歳です A は(場所)にある A は(時)に行く A は･･･を買う A はおいしい ･･･はどうですか？ ･･･には(予定)がある、いる	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習
2	7〜8	A それとも B? どうして？なぜなら ･･･しに行く	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習
	9〜11	･･･している ･･･で･･･する ･･･できる	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習
3	12〜14	どのように･･･するか ･･･のために･･･する ･･･に･･･をする ･･･した …したいと思う ･･･したことがある	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習
	15	私は･･･を学んで…が経った	a:文法項目を理解し、文の組み立てができる。 b:文を組み立て、実際に表現することができる。 c:簡単な文を作り、発表しようとしている。	小テスト	レポート	発表、口頭練習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度